

豊郷町隣保館だより

2024年8月23日発行 豊郷町隣保館 ☎0749-35-0611 No.245



遺族会代表の久木さんから子どもたちに挨拶をいただきました。



平和祈念館の職員さんから当時のお話を聴きました。

79年前の戦争について写真などで、子どもたちにわかりやすく説明していただきました。



『夏休み子ども食堂まつりのなかで、戦争と平和についてみんなで考え合いました!』

今年の夏は、例年になく暑い日が続きましたが8月7日(水)に開催した「子ども食堂まつり」には、元気いっぱいの子もたち100人が笑顔で隣保館に集まってくれました。

今回の「子ども食堂まつり」では、午前の部に『平和について考える』と題して昔に戦争があったんだよ』をテーマに東近江市の平和祈念館の職員さんにお話をいただきました。

1945年に太平洋戦争が終わり、今年で79年を迎えました。戦争中にどんなことがあったのか、当時の人たちはどのように暮らしていたのか、戦争について改めて考えてみることは、とても大切なことです。確かに今を生きる子どもたちには、79年前という年月を考えると遠い昔の話になりますが、確実に今の私たちの暮らしにつながっていることを思えば、これからの生きる子どもたちにとっても大切な学びになると思います。

子どもたちは「戦争がダメなこと」や「戦争は悲惨なこと」だということは感覚的にわかっていきます。しかし、なぜ戦争が起こったのか、その理由についてや「戦争は最大の人権侵害である」とされる意味合いについて伝えるべきことは伝え、大人と子どもが共に考え合う場は必要なことだと考えています。今回のお話や実際に使われた展示品にふれることによって、「遠い昔にあったことが今も、そしてこれからも考えていくべき大切なことなんだ。」と受けとめてくれればと思います。